

和歌山県立医科大学附属病院医療安全監査委員会の実施について（報告）

和歌山県立医科大学附属病院医療安全監査委員会規程第 3 条第 1 項の規定に基づき、令和 6 年度第 2 回和歌山県立医科大学附属病院医療安全監査委員会を実施しましたので、同条第 2 項の規定に基づき、以下のとおり報告します。

1. 開催日時 令和 7 年 2 月 13 日（木） 13 時 45 分～16 時 00 分
2. 場 所 和歌山県立医科大学附属病院 中央棟 4 階 大会議室
3. 出席委員 委員長 山口 悦子（大阪公立大学）
副委員長 中川 利彦（パークアベニュー法律事務所）
委員 浦野 敏（NPO 法人いきいき和歌山がんサポート）
4. 院内出席者 管理者・病院長 西村 好晴
医療安全管理責任者・副院長 原 勲
医療安全推進部長 水本 一弘
医薬品安全管理責任者・薬剤部長 中川 貴之
医療機器安全管理責任者・臨床工学センター工学士長
中村 一貴
事務局次長（病院担当） 末松 新一
5. 議事次第
 1. 令和 6 年度第 1 回医療安全監査委員会における指摘事項への対応状況について
 2. 当院における院内デイの取り組みについて ～超高齢社会への対応～
 3. 当院における高気圧酸素療法について

6. 監査結果

- 議題 1. 令和 6 年度第 1 回医療安全監査委員会における指摘事項への対応状況について
- ・「客観的かつ具体的な根拠を示された場合に限り」という表現はかなり後ろ向きに取られてしまう。匿名での相談についてもフランクに受け付けるということがわかるようにさらに改善する必要がある。
 - ・女性の相談対応者の配置について、検討はしているが時期を明示できないということであれば不十分。女性の被害も男性と同等、あるいはそれ以上に多いので、対応を早急にさせていただく必要がある。
 - ・相談しやすい組織づくりは、患者安全の基本である。そういう視点で、目標を設定して

ステップアップしていただきたい。

議題 2. 当院における院内デイの取り組みについて ～超高齢社会への対応～

- ・患者さんがリラックスして楽しめる、ということを今後も大事にしていきたい。
- ・病院ボランティアとの協働や学生を活動にリクルートすることなどを通じて、企画にバリエティを持たせると、患者さんの幅広い要望に応えていけるようなデイケアの活動にできると思う。
- ・今後は評価の部分、何らかの指標を設定できると、それをもとに改善を進めることができると思う。

議題 3. 当院における高気圧酸素療法について

- ・他施設や過去の事例をおろそかにせずに対岸の火事と思わずに、他山の石としている、というところが評価できる。
- ・安全管理に関する矜持と熱意を感じることができた。今後も、引き続き気を引き締めて頑張ってください。

和歌山県立医科大学附属病院医療安全監査委員会

委員長 山口悦子